# 左大將家百首歌合

1373
2

門 ヘ利 4 特
番 1373
巻

ヘ 4
1373
2

宮内省圖書寮

# 古大將家百首歌合

## 題

### 戀上

初戀　恋恋　思恋
寄恋　祈戀　関戀
遇戀　別恋　契恋
絶恋　惡恋　形戀
朝戀　晝戀　意恋
夕戀　幼恋　遠恋
恋恋　待恋　稀戀
疎恋　暁恋　近恋

一番　初戀

左　村　女房

右　信定

二番

左　勝　季仲

[illegible]

右　　経家卿

[illegible]

右方ハ左方ニ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三番

方　持　　有家朝臣

[illegible]

右　　家隆

[illegible]

方右ハ[illegible]

四番

方　勝　　定家朝臣

[illegible]

右　　隆信朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五番

左　勝　　頭昭

[illegible]

右　　寒蓮

[illegible]

右手[illegible]

[illegible]

六番

左　持　　道家朝臣

[illegible]

右　　中宮権大夫

[illegible]

左右[illegible]字ニ題ヲ[illegible]中宮[illegible]

判ニ為首[illegible]

七番　忠恵　女房

左　勝

新古

[illegible]

右　中宮権大夫

[illegible]

右[illegible]左ニ[illegible]

不相違忠[illegible]

[illegible]

八番

左　勝　道宗朝臣

[illegible]

右　修家卿

[illegible]

右[illegible]左ニ[illegible]

左右[illegible]

但[illegible]

九番

左　勝　頼昭

新後撰

[illegible]

右　家隆

[illegible]

右申云左哥難申右同判云さ山あと首文字相違
いつくの哥勝劣侍らしと右云いへるをあく
さめそきの左いへるて梅めそめるとこそ祢
心うしこきて付て以左可為勝

十番

左 持　　季経卿

いさ帰りしらあまりこ有りけん人を思ふ物かは人の恋しき

右　　寂蓮

世の中の庭の霞をさつくの枝も今そうらし

右方申云左方あまりこ有りとはやはす思ひ寄

左方申云右世をいとへ心の庭にも

あまつ袖は袖そ思ひけりあまはし事なれ判云

左の方哥はあまりこ侍らしとよりてさらや

右も又心の庭にくもりなく侍れは持にや侍らん

十一番

左 持　　定家朝臣

こゑのみやなきさにすへくひとつもる袖の下ひさ

右　　信定

あれと世よ…しのきも袖のかたに

右方申云左はいひまきの袖文字こそ

左方申云右は袖のしたひ

右方申云左…判云左方へさく袖のとひ

右方…袖のあまり侍る

とりて心ふかくも侍る侍らん文勝劣不分

十二番

左 勝 有家朝臣

思ふにはこの世つきぬとしかもやまの苦のしたにや思ひまかせて持ちなん

右 隆信朝臣

あくかるゝ心のうちにわか身ゆへ世にありてもやしくものゝ嘆をそまし

左右共に恋の心のあはれなる中に判云両首の

姿詞いつれも見えて侍るを右猶あしきと思ふところ

ありかたくもいはゆる者なりにしかれはさきて侍らん左歌

のよりやおほくいふ事をあきらかにいふも勝とや申へく

十三番 左 持 顕昭

契あらはあふせもおもくのちそよるへきいかにこの海の

右 中宮権大夫

人はさく何のかいつともしらぬ悲さをかひはいくともあたらしや

右申云左の歌ことは雑左申云右はことにうちまさりし

てや判云左右契あらはとそいひけるのゝもとかさや

みえおほえさまにたひられて来の句のあかしと心えかれ

侍らすや右は思ひの下に悲さのいたりし深く心つよし

てそ其益あるへし以持と申也

十四番 左 勝 顕昭

せかるゝ契もふかきちわたり末も絶えし中の水

右 家隆

なかきも碑にわれはまく涙のことゝもなりをみえる袖のきや

左右共に申云判云左以両首江河湖海

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十五番

左 持　　道宗朝臣

[illegible]

右　　隆信朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十六番

左 勝　　有家朝臣

[illegible]

右　　信定

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十七番

左 勝　　女房

[illegible]

岩つゝみちよふる人を菊の露にまかぬ秋は[よ]なけれはしらるらん

右　　経家卿

君かよのためしにきくの池といひ出る里神そかけまくもかしこき[ぬイ]

右方申云左哥無難左方申云右哥きくの池ことさしたるいひ出る哥之判云左乃岩の菊右乃菊の池ともにことならすよろしく侍めれとも菊の哥にやまさり[ぬ]たりとは申かたく侍るにや侍らん

十八番

左　　持　　定家朝臣

あらしふくのきはのそらしらぬ秋の人のこゝろやかよふらん

右　　寂蓮

いかにてか秋の袖にまつらんまくらしらぬ里の萩の上風

右方申云左哥こゝろの字けかすれす左方申云右哥甚鮮雅似優なりと云々里の萩をもてあそふや

判云あらしのそらしらぬといへる三史八代史なとの賢者武士なとの事をいへるやらんいかにもかきくさせる事なきにや侍らんまして里の萩なといひしく哥をとりなさんといへるにこそ侍るを但左もあらましく思ひて侍めれたかひにつく持とやいふへからん

十九番

左　　見恋　　有家朝臣

中〳〵にみるめもよるかくとも伊勢をのあまのすむ海とみよ

右 猪　　経家

[illegible]

方右方[illegible]判　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿番

方 持　　季仲

[illegible]

右　　中宮権大夫

[illegible]

方右方[illegible]判[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿一番

方　　道宗朝臣

[illegible]

右 猪　　信定

[illegible]

右方[illegible]

上[illegible]判[illegible]

なるべし右は文選にしたがひてといふ事を方人申すべし
やどりくさといふ事右の作者の詞に似て右の
心をいひやりたるに聞ゆる接にも侍るべし左の姿優にやさしきにや侍らん

廿二番　左　持　顕昭

いりし日のあとまでうかぶ浮雲のかげも見えぬはあはれなりけり

右　家隆

かひもなき沢の根芹をつみてけん心のうちはいかにくるしき

左右共に難なし　判云　左右下句は　ひとつ
のやうにやあらん　侍るをわかしてあはれ
しくは侍る　右の歌は　ちよつとよろしくきこゆれと
なほかくは侍らんのあしくやと見ゆ

そのみちもなくしてはおもふかたに侍る

廿三番　左　持　定家朝臣

しら浪のわきかへる池のさきわたるつきにこえては

右　寂蓮

かはづなく池のまにまにうち忍びけんかはづのなくや

左右共に有心に侍る　判云　左のわきかへる浪の花こそ
右の池のそこの心ぞいふも侍の詞には侍るを
そのめてたく侍りとまけの艶書などには侍るを
侍るべき合には獻言なる故や侍らんするの
池のそこと思もすくなく侍るところは池のには
なきと侍りぬるによりて文の編労なきにや侍らん

廿四番　女房

方　後

[illegible]

右

[illegible]

右方[illegible]

不審方[illegible]右方[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

隆信朝臣

廿五番　雅宣

方　持

有家朝臣

[illegible]

右

中宮権大夫

[illegible]

方右[illegible]

[illegible]

廿六番

方　後

通宗朝臣

[illegible]

右

経家卿

方々中一会に中納言判を右の戴安道に松の
事なれば方の事まるるるやうにやはんべ

廿七番

左　持　彩眼

見るもわるしまばらなる花にうきの松原

右　家隆

いわるしに契もたるまさりて迷はるる
まちかねて会に中一判を方縫西の秀逸
いくしつるわくはるる右方の人の面ひも
いまなほ松に残るべっとるる松を上

廿八番

左　俊成　重保卿

いたらぬ山もとひつてきるひなくもイ
右　寂蓮
三輪山松のしるしにふりにしを道とまちふる
左右共に難石見に中一判を西方の三輪の
左に花にもるるとおもへんの口惜や右に上きき
中にいつるの三のの月わること事にてやはん
左方俊成卿なるるやはん

廿九番

左　持　女房

中なるつイ道にて秋の松の梢にまの月
右　信定
彩九
いつしか思ひ出の松の梢のくれの月

左右方雑こと申判を左の枝の物に立の用と
云右の枝の物の多くなれのことをいつるつるこれた
くも作る方を三福の山作りと申く
物くさの方の月をまさひくに面をるもの中へき
を右多くれのそうくも作る福の物物をまや

三十番

方 猪　　定家卿作

面影をそへ一宮に光をくるくる風の松にてるを

右　　隆信

為の月をたりやをなきすまるの秋陽の上ふを
左方をこの中を雑こと申判を西音方を俗に宗
作をたの山まを秋をるをやを作

一番　初恋

方 持　　有家卿作

いまはさて恋の面をこのりまを頃じを物の沖に
なりやせん

右　　経家卿

物の恋に上をなりの沖のをりも有とこれを
右の中を面に二八奴僕に山に物りて八ほこよりを紙
をるの右面に恋の面に面に二をとくくしきて
まをやるるの方の中をこりの式の物の恋やを作の
くに作るの二の利を左の恋の面に右の物の恋
あ方風貴方に庭の面に二をを中を恋に八物に
に作芳あの二右光物作り物をを二をや

二番

方　持　　道宗朝臣

いさゝ殿と牛面の村とゝ[illegible]

右　　中宮権大夫

[illegible]

方　信　　季綱

[illegible]

右　　隆信

[illegible]

三番

方　信　　頭弁

[illegible]

右　　信定

[illegible]

四番

方　　頭弁

[illegible]

右　信　　信定

[illegible]

[illegible]

五番　定家卿

左　負　新古今

[illegible]

右　家隆

[illegible]

六番

左　勝　女房

[illegible]

右　寂蓮

[illegible]

七番　契恋

左　勝　彫服

[illegible]

右　経家卿

[illegible]

右方ハ左方ハ右歌庭訓わまことの方方
[illegible]判ニ左方ハ[illegible]
[illegible]雖右歌庭訓[illegible]
[illegible]ハ[illegible]右方
[illegible]

八番

左勝

[illegible]

右

[illegible]

道宗朝臣

中宮權大夫

[illegible]

[illegible]判ニ左方ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]勝と[illegible]

九番

左

[illegible]

右 信

[illegible]

季經卿

寂蓮

右方ハ左方ハ[illegible]
[illegible]判ニ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]

十番

方 持

女房

右

隆信朝臣

十一番

方

定家朝臣

右 信

信定

十二番

方 勝

有家朝臣

右

家隆

十三番 侍従

方

那昭

おひのすゑにつけくもおもふかなかなしきこの経にあひぬらん

右　持　　信定

よひの経をゆきくすまふく所にさて宵にたちのへ上ゝ

右の方にも左方ちまちなれはさとしみるあかりひさしく

よろしき歌にゆゝ文字おもしろの経をもきこす入相の

鐘の夜の経二あるは似たる左方にも右方の同し

さまにくゆへ判には入相の宵経よその経右方

旨相当を右の雑なるにはあらすなる詞にかなえし

心得ゆへよろしくきれ物とゆるくすまし

ところくたくみなる入さりゆく末の句もしゆゝ右の持

十四番

左　持　　季経

隠れなき浅瀬にしらぬもみちはのもみちはいかにかくれぬものを　有家

右　　中宮権大夫

ひとめくるまくらの待方の風のおとにまたれつゝあはれ

右方にも左方還くは栢有の左方不離に判は右

方人のいくはくそふとのものの字にのみ

たよりもや左方にもよりもさたまれは

よろしくゆゝ左持たるへし

十五番

左　勝　　通宗朝臣

おもひやる思ひのつらひの残りにそなみなきさまのさる　ん

右　　経家

さゆきにとおもひきわけしつらひそたなきなるさこの秋のなさしきさよ

[illegible]

十六番

方 勝　　有家卿

[illegible]

右　　寂蓮

[illegible]

方右[illegible]難[illegible]判[illegible]

[illegible]

十七番

方 勝　　女房

[illegible]

右　　家隆

[illegible]

方右[illegible]判[illegible]

[illegible]

十八番

方 持　　定家卿

[illegible]

右　　隆信卿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いつる心を思ひとりてかの極
やうにん右方はなかの
あらそひてやうにんをいつる心和下
あらそひてやうにんをいつる心和下

十九番　遇憲　　季綱

方

遇憲は神なれば神家卿

右　勝

ひとりの源氏の多をあらそひ
方は判者の神と
いつる傷を仕るを
新勅撰もいとくの
多をつらく右は
方へまさや

廿番

方　持　　有家卿

そてもの〜し来とりて
右　　中宮権大夫

内の文のあらはしてきこと
右方は方の方
歌形早速とい
判をし来もてと
なるん事をそ
も女のことを

廿一番

方　信　　通宗卿

すゑとのゝみたれ〳〵もあふことはさらにこそかけてなき

右　家隆

恋しとてあひみむ事もかたいとのみたれ心にしのひかねつゝ

左歌はそのさすらひの之判云左右ともによろしとひとへに

みえたるに右のこと葉よろしきにや

作者人々ことにまさりてよしとすと有けるにや左

勝何以

廿二番　左　持　女房

から衣すそのゝ萩のしたは秋の露をぞかけてしのばん

右　隆信朝臣

秋をとふ心はしらし衣手のみたれて思ひもなくて露と思ひけ

まちわひし雲雑之中判云真如何

見る人ごとに思ひわけゝんと伺けり

右は白くたえ心ゆくもあはれにて思ひ給へる

なんの論あるも作者難同程に伺へし

廿三番　左　持　定家朝臣

今はまた我恋しなはのち心たえすはるかなりけむ

右　信定

あはれとてもとのこゝろのあはれさへなきそ

右の初文字いふ事も左の右にも

あはれにつらし判云左右われもかなきと

いつさきの恋のうきもとしわかりかと伺へつゝ

右きこえも伺つる右は右人のあはれ

そのといふ心おもしく侍らをおもひそくかけと思
この義やおほつかなく侍ん左方はさきと並
ゝめりしいさゝかや侍らむ持と申す

廿四番

左 勝 顕昭

志ゐなかれはさゝしもしらぬ進あすは数とをこしきた

右 寂蓮

花のぬれはあまてはしやゝ侍ん恋あはれそ身をしたへ

右申云左方志ゐなかれはといふうたゐかまさまさり
方ことはなし判云これもきゝ切なる人歌
志ゐなかれはとよめる難もと人さきは心ありけれ
ありけりといふらんそおもはるとも侍るまじ也

おそはせ数のなかにもおほしとも左勝と侍らん

廿五番

左 別恋 顕昭

数まさしおもひなから中くおほしとゝさへさけちまゝ恋しのは

右 勝 中宮権大夫

ゆきわかれともおもひしとて物かなくも梓さなりおつ事をさ

右申云左方歌の心にかなるゝ左は多の方にもいふかし

世俗之判云左方すたもこのまことなくいまし

おもひての所也右方歌の心中も何ねのも勝矣

廿六番

左 季経

たちの国からの綱のふちのもとをたけのほしつる神かくされ宮の
かは

右勝　　信定

右方方申偏相違に候間方申新之方申
方方申雖得心愛之申判方相
違とおぼし難に及つゝす但右四之方の
末の爰ゆゝ侍以右為勝

廿七番　　定家朝臣
方勝
あしたの雨ゆゝ道の草のおもしろ
右　　紅葉ゆゝ
あらの有ゆゝ秋成ゆゝさの宮を
右方方申方申ゆゝ右方申しき

ゆゝ判方方申上為利つゝ
て侍すゆゝ方集ゆゝ侍
ゆゝとゝふ五申庭ゆゝ右ゆゝさのゆゝ
ゆゝて侍と宮をゆゝ
ゆゝしゆゝやゆゝん

廿八番　　有家朝臣
方持
陸奥ゆゝ歌ゆゝ
右　　寄草
あゆゝ思ゆゝとゝの根ゆゝ忍ゆゝ
右方申方申ゆゝ相方ゆゝ右申ゆゝ
とゝゆゝゆゝ恋ゆゝふ侍ゆゝ判為方

風雅なる優にやさしき人なり

廿九番　　通宗朝臣

左　持　　隆信朝臣

[illegible]

右

[illegible]

右方[illegible]自題[illegible]心[illegible]

右方[illegible]判[illegible]唯[illegible]人[illegible]恋歌の

[illegible]を[illegible]右[illegible]朝臣[illegible]

別離の切なる[illegible]表[illegible]是又同[illegible]

して[illegible]

三十番

左　勝　　女房

[illegible]

右　　家隆

風[illegible]

右方[illegible]有感氣

判[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一番　　隆恵

左

朝臣あつさだ[illegible]志賀[illegible]

季綱

君はあら何ゆゑ左中くよらぬ人のをまつむ歌なるをさい

右　勝　　経家卿

見さこ井の磯の松か枝たれけくめてきれらぬ思ひそ

右方申ていはくよろこひそ左方申ていはくまさき

判云右方勝ていはく何ゆゑにまからぬかはかくて侍る

いかかはらんさ方やかやけ無く侍らん

二番

左　勝　　通宗朝臣

かりの秋はまたやかりて思ひそ浪にあかれしけ

右　　家隆

あひつゝ思ひけいは思うれしくものの歌はせ

右方申ていはく左はいとふかりて判云左をあまさ

とまさしくかの方に申すぬ哥御方ねい

いかなるへし以左為勝

三番

左　持　　有家朝臣

袖のうへの涙の色もさそ侍らんとはいかそよおもほえたるらん

右　　信定

よしさらはおもひそ色あらはれ衣の袖に松ち乗てたるらん

右方申ていはく左方をそといふ人の事とおほゆ左方申

左方をいはく何無也判云をいつまてまさる事

何やなすまさはいふは侍るを猶まさこそんか

猶はいへるへしおもしろくて持とさへくや

四番

方

定家卿

右 勝

中宮権大夫

五番

方

隆信朝臣

右 勝

六番

方 勝

女房

神の法しのぶの山の

寂蓮

右

[illegible]

難も相當ノ上ニテ
[illegible]
[illegible]方勝

七番　稀憲　　孫昭

方　持

[illegible]

右　　信定

絶[illegible]

右方[illegible]難[illegible]

[illegible]判[illegible]方勝

八番　　有家卿

方　勝

[illegible]

右　　家隆

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九番　　季經卿

方　持

[illegible]

右　　寛基

[illegible]

右方[illegible]方勝

[illegible]

[illegible]方勝

[illegible]

十番

方　女房

あやめ草の神のしるし吾妻にてみあつまりしのうたみ

右　持　中宮権大夫

書てゆ情てしらを有ふるかの逢ものそさ

右方　ちはやふるかの書きいとしてんるのいて方中ら

きとひてくくらうやや判ちはやふる

新とゆいさうや又逢まくつてとと

ちてくらうきとしつらも玄金二て作

あやめ世とうしくゆ右勝作人

十一番

方　定家朝臣

あてしてしるしてあきらかの家

右　勝　俊家ニ

思ひあれのあきのつとれ

古方ちとれをみさうてけるかが

いく方ちを右ニ方判ニ方難事とうり

ちるいうみて新ニ作ることを右のふめさんとまく

ふるかの作ふうしさ程と老老乃用ニ

なを作すうふるのくを詠めニ作人。

勝ハ右高勝

十二番

方　勝　通宗朝臣

俊卞

清ニ又の代ニ二新のれ程しくさすて我を思るもん

右　隆信朝臣

いつくしみのうちにもなかきよの一葉をとゝめてとゆるし
左右ともに無指難之由申判者左方ことさら宜
いふ侍るをうちまもるやらしき侍る右方
末句あしくみえといへるはよろしく侍る左よろ
事あらはれへし持勝へくや

十三番

左 絶恋 女房

やまと歌よみ人の道にをかさきことにみえたる

右 隆信朝臣

あはれさとくいひし晴をやすそ雨よのしの葉のとい
右方申云文字よとらひかくいふ織たる拍也
左方申云無指難判者左やすらひかくとこそ人ふき

なかとはいまいふ侍る初文字いろはとに家に
事をうみいふいひとくへんかん文字にとゝのへ
ふのもとにいほ右のへのよ歌あるへき事の持
ひて文字ありのこと書下ありに左あるき勝
京といへるよろしくこそ侍る勝とすへし

十四番

左 勝 季経卿

うらみわひ今はいはしと思ふとも絶ぬるのちも人の行末

右 経家卿

ふかきゆふ日をいりあひのかねそとく人かくれもしつくしける
左方難申判者右方の一切無指難左よりや
左方いふ侍る勝とすへくや

十五番

方 猪　　有家卿

[illegible]

右　　家隆

[illegible]

十六番

方 持　　為家卿

[illegible]

右　　中宮権大夫

[illegible]

十七番

方　　彦昭

[illegible]

右 勝　　信定

[illegible]

十八番

左 持　　定家卿

[illegible]

右　　寂蓮

[illegible]

左 [illegible]

[illegible]

[illegible]

十九番　恋恨

左　　別所

[illegible]

右 [illegible]　　隆信卿

[illegible]

[illegible]

左 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿番

左　　季経

わさきやの[illegible]

右 [illegible]　　中宮権大夫

[illegible]

[illegible]

方右又字わさまうしやりひさやうと始終相付
てもやうし作様も方の言葉ことと初かりや
作後右下之意後様ことと作そう安力後

廿一番

方 勝　女房

涼そうろうくもろうかいなすきわとうと言れうもうへ
右　経歌
天地つて源の川上持さんれくしたりて作
右ゆうと初又字ハゆゆす方ゆゆす中家字ことと
心ゆゆす判ゆ右又字心ゆゆのうあすすを
作ゆゆ様ゆうつとして言ゆゆ六
作ゆ様ゆさうんハ源本ゆ作ゆことと作ゆ

也方後へくや

廿二番

方 持　定家朝臣

わうゆうしはりのせゆうくを振くもその貸とえんと
右　寄蓮

さくも作ものしんや向ゆ心振ゆうくへうゆきゆる
右ゆうとゆゆ方ゆ右方ゆ右方ゆ右方ゆ言葉雖
判ゆ面方ハ面ゆうしいゆうゆゆゆ作ゆゆや
方ゆうとゆゆとゆゆ言葉ゆの作ゆいゆゆゆ
ゆゆ右ゆうゆゆしものうもん手ゆいゆゆゆや
さゆも作ゆゆくもゆゆゆゆゆ言後方ゆ作ん

廿三番

左勝　道宗卿

右　家隆

廿四番

左　有家卿

右勝　信定

廿五番　舊憲

左勝　女房

右　寂蓮

と云ふ心をよくゝ学ぶべきや左勝侍らん

廿六番　左　持　雪経卿

つまれるさの心をよくゝ詠みこなしたる

右　中宮権大夫

詠れるをこそつくゝきもも寄せて心をつくさぬ歌ぶり

左方　右方　詠ぶるこゝろ詠ぶるこゝろ

さの字用ゐるさ心をよくさて侍るや判ぜん歟

さの字用ゐるこゝろ

たゝりわゝ仍右勝歟愚判

廿七番　左　彦昭

神さびたる山のあり様清水のあり様つゝけたる

右　侍　家隆

山ゝ見る岩の下りる岩ぶやゝ寄せ来なるゝ

左方　右方

右方　左方

廿八番　左　持　定家卿

いとゝ山ぶせるこゝろ

右　隆信卿

寄せ来なるゝ岩の下りる勝と侍るべきや

左方　右方

[illegible]

廿九番

方 陸　　道宗相作

[illegible]

右　　経家

[illegible]

三十番

方 持　　有家相作

[illegible]

右　　信定

[illegible]

一番　曉窓　　彫昭

左　勝　　寒道

右

二番

方 持 恵宗朝臣

右 中宮権大夫

三番

方 持 季経

右 家隆

方 勝 有家朝臣

右 隆信朝臣

左方ハ情ふかく詞もやさしと判者左
歌のさまをかしとて右方ハ今のよ
なりしよりわろきこといへる物なれといへと
但それおもふも月をなめくしといへる歌たるに
つけや右の家の人の情ふかいわろきさとやかなる
とまるよろしくそ侍り右かたの歌持侍る人

五番

左 定家朝臣

かけとめてかへる鴫の羽かきもひかりきえのさの空

右 勝 信定

暁の鴫やきかふらん袖にかゝる鴫の羽かき

右方ハ左方の歌相兆して左方ハ右方を

あまりくの字叶ふくもやさしすと判者左方ハ、かの義標
の歌をいへり国遠くしく妨ありしのなきさま
といふやうの肝要やはん右方のさまかく乃字
寒にいとおもひくもやさし侍と神こおち
くゐまふいろんてつくやかの右勝侍らん

六番

左 勝 女房

見やられしおほろけしく人の知りけるを思ふつきは有明の空

右 経家卿

秋の夜のあけくらしきあまて時やらへん迷ひやゆくれの空

右方ハ左方出て歌ゆる左方ハ右方上るかし

見つこといふ判ハ左有明の空は篇の空たち置

たゆたゆとたゆたゆとをきて思ふこゝろ有り
のそといつくんぞ[illegible]て作り出る方丈の時

七番　朝憲

方　持

[illegible]

季経

右

[illegible]

隆信卿作

[illegible]

方

[illegible]

[illegible]

上又七[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

## 九番

方　有家朝臣

[illegible]

右　勝　経家

澤に生ひそめしあやめ草　[illegible]

[illegible]

## 十番

方　持　[illegible]

[illegible]

右　[illegible]

[illegible]

十一番

方　定家卿方

雲うつるかすみの山をたてもたて落くさ行る方の面の新

右勝　信定

いさ家ぢ[illegible]ふつさそなたも行ー杖の吹くのの

右方　雲うつるとうつるめくる日の新とすて

丁つくる石庭者りや方ーうさ命の判方勝

始終とつくる石庭者と右ーて行るまいさ程の

手石持口入りや右手もさいうちの方ーく

行ーて山又字いわ[illegible]やたとおも行仕主の眺

うそ五人あれ[illegible]いいるつ行と杖の吹

のわ[illegible]やとを行ーと方手の新

事の新ーや行ーてもいう右勝

十二番　女房

方　ひろう神の神の名ろ代朔之ろ日新ときろ家も備り

右勝　家隆

道芝をうけく家ろ代神ろ代ろ言をまてこまめと

右方　方ーを方手世移新方ーちろさ手上浜手

つまてくもられとまつんとを手ーをを判方勝

ろ神のろ新ろ新ろ之ろ手ーをを判方勝

や右浜ーろまてくも言代ーつんちろ代手世を

浜ろ手代ろーろ行んあーつろ手ーををつ八ーつ

を行ーんろ世ーをろ世ーをまつくも言をまをー

[illegible]

十三番　畫戀

方　女房

[illegible]

右　勝　中宮権大夫

[illegible]

右方[illegible]

[illegible]

[illegible]

十五番

方 持　　通宗卿

帰洛の上紅葉をこそ手向の神のあイ

右　　宰蓮

[illegible]

右方[illegible]別段雅[illegible]方[illegible]

いづれ[illegible]判[illegible]方[illegible]上下[illegible]

右[illegible]優[illegible]方の

[illegible]

十六番

方　　季綱

月をまつ[illegible]

右　勝　　作家

[illegible]

右方[illegible]

[illegible]文字[illegible]

[illegible]

[illegible]

十七番

方　勝　　定家卿

[illegible]

右　　経家

[illegible]

右方[方]左方人々もかくこそ左方[方]右方[方]平懐
判ども左方[方]の神の名所[所]なれば猶ひろき所[所]わけ
かくこそもなくや右方[方]の歌ひとさだめ侍
ものかなとの程もあるべきやうもなくやひろの字の
なりてをりてをりてやはべらんや右方[方]言ひ侍
十八番
左勝　有家朝臣
前勅[勅]
なりぬとなりぬとなりて中[中]なるの[の]歌ども[ども]なれば
右　家隆
言ひ[ひ]ぬ[ぬ]べきやうもなし山[山]の[の]歌[歌]の[の]表[表]の[の]題[題]に[に]契[契]り[り]
右方[方]孫[孫]石離[離]中[中]左[左]方[方]
俊[俊]や判[判]ども[ども]の風[風]体[体]ともに[に]優[優]に[に]侍[侍]
右山[山]の[の]歌[歌]ども[ども]なれば左[左]方[方]勝
十九番　夕恋　季綱
左勝
侍[侍]ぬ[ぬ]べきやうもなし
隆信朝臣
右
あやめ[め]ぬ[ぬ]ものとて[て]ぬ[ぬ]れ[れ]ぬ[ぬ]れ[れ]ぬ[ぬ]れ[れ

右　　中宮権大夫

[illegible]

右方　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿一番

左　勝　　有家朝臣

[illegible]

右　　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右

家隆

四番

方 勝

定家朝臣

右

信定

四番

方 持

[illegible]

右

[illegible]

右

[illegible]

右

[illegible]

中の判ニ左右同枝ニて雲居別ニ

廿六番　左　勝　季經

ゆきかくまちのあしたの雲ゆたかに花の朝ぼらけ

右　家隆

めぐりあふこゝろの月のあかつきの雲のあなたに入るかとぞ見る

右ハ左ニ雲居の月ニて雲ニ入るかとぞ見る

なるゆゑの判ニ右ニ雲のまとをたりし

ゆゑ侍ニ仕ふとゆゑ左ハ雲居

いつゝめてゆゑ見ぬ侍ニ

仕ふ左ニ上下相対ニ写ル時ニ仕ふ

廿七番　左　通宗朝臣

こゝろ深きあはれ千ゆゑ

右　勝　隆信卿

千ゆゑ更の春をかけてさくらもるのゝ花ゆゑ

右ハ左ニこゝ深いつゝみよりの人数ニ成る左ハ

中ニ右ニ行ひ侍ニ成る判ニ

こゝ深ニひとしきゆゑ

鳥のゝ花ゆゑ

廿八番　左　定家朝臣

千ゆゑ

右　俊成卿

我恋やたゝの桜失とかりわん第のこひしらめ
右方 ちとしるもの　きの庵とる　方 戸を清
の桜失ひしらわるやうこゆめ判を方行つらひ
もるなくと恋くつきとちひしとゝ
わしらゆ伝ねとかてきの庵を独みく
やかしつんとやし伝右清生の桜失ひしらめ
とゝるきても有ゆへ方臨きやゆん

廿九番　有家朝臣

方 持

続古 祝えもすく行くるきゝ

右 ひとるる分とを思くて三回ひんとるあさんへらゆ

寄草

三十番　方房

方 絵

新勅 ゝの祝くれ賀の世新ゝ湖ゝきやゆきゝ世のゝ花

右 信定

をゝやれ新家ゝつのゝるもゝ

ゝ右ゆ行新判ゝ方のゝ世ゝ世ゝ花方の東京の

右方 方 右方 右方 右

[illegible]

一番　老憲

方　季綱

[illegible]

右　信　隆信朝臣

[illegible]

二番

方　持　有家朝臣

[illegible]

右　中宮権大夫

[illegible]

三番

方　隆昭

[illegible]

右　信　経家卿

[illegible]

右

四番

方 [illegible] 女房

[illegible]

右

家隆

[illegible]

五番

方 持 道宗朝臣

[illegible]

右

信定

[illegible]

右つゝしてとゝさまゝ

六番

左 勝　　定家卿

[illegible]

右　　寂蓮

[illegible]

七番　幼恋

左　　俊昭

[illegible]

右 勝　　隆信卿

[illegible]

八番

方　有家朝臣

右　勝　中宮権大夫

九番

方　通宗朝臣

右　持　寧重

十番

方　持　季経

右　行宗

行とん

十一番　左　勝　定家朝臣

[illegible]

右　経家卿

[illegible]

右方[illegible]左方[illegible]

[illegible]　右雅百合　左[illegible]

[illegible]　右又憲の心[illegible]

[illegible]

勝　[illegible]行とん

十二番　左　勝　女房

[illegible]

右　家隆

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十三番　左　持　遠憲　有家朝臣

[illegible]

右　　隆信卿

十四番

方　持　　亟宗相国

右　　絶　家卿

十五番

方　季綱卿

右　勝　　中宮権大夫

十六番

方　　彦昭

右　勝　　家隆

[illegible]

同じ判ニ左の[illegible]

[illegible]

[illegible]

十七番

左 勝　定家卿

かけまくもかしこきひのもとの中とくにまもるやまとうた

右　寂蓮

[illegible]

左右共ニ持ニ成判ニ左ハ[illegible]

[illegible]

十八番

左 持　女房

[illegible]

右　信定

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やたそもひとつの解たつ物と心ゆくくを求
み初め字をを右と方人中くくをを
て仕初めとをくくを下の言下ひやいを
とをくく仕まとたくくを花たをいを濃
艶を仕りををくくををおくをを
をくの判をて仕つるの四慶流清季をく
をくをくくわくくをを仕つるを

十九番　近憲　有家卿方
方　持
やををくくをくくををををををををを
右　経家
しをくくをの中ををりをををを八幡ををををををを

廿番
方　勝　道宗卿方
いををを八幡をを中ををををををををを
右　隆信卿方
ををををを遠ををををををを人中の酒を
四の判を右をををををを方をを西路の
くくくくくをを事を以右の勝

廿一番
方　勝　季経
をくくををををををを自神をををを

右

白くゝ白梅たゝりをゝ信くゝ宿の梅

右方ゝ方廿番持 右京亮藤家梅

を判ゝ近きを思ひ人題を同定也下膳

梅の花若葉ゝ乃ゝ山へ右京

ひさてゝ思ひ倫ゝ梅を詠

あけゝ春ゝ

すさ思ふ心ゝ但抑ゝ心信て

とゝ思ゝ方ゝ

ゝへさや

廿二番

方 持

定家朝臣

湖ゝ袖乃色ゝ

右

梅ゝのまこゝ中乃ゝ

宗重

ゝ雖不ゝ判ゝ

ゝ但ゝ状ゝ

廿三番

方 持

隆房

隔ゝ簡乃ゝ

家隆

右

ゝ

右方ゝ方廿ゝ

ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右方方人難中方方右方勝
判方方方方方方方方秋の中
山橋の心と山とくらくさ秋の中
めーの風風のとめれらとまれ右方
行きとまるのおらりりりりりりりや
仍方方方方方

廿六番

方 勝 季経

郭公なれなれ神代

右 中宮橋大夫

時鳥なれなれこゆるこのいとそ舞しれ
方方非橋恋申とめ

廿七番

方 持 西宗朝臣

ちりぬるをわかよたれそつねならむ橋の道をそちりぬる

家隆

右

かりの袖のかりのまの花の月ねもく
方右方方方非橋恋申判方方
風井ちりりりりりりり

[illegible]

廿八番　有家卿

方　陪　隆信卿

[illegible]

右

[illegible]

判　右方[illegible]

[illegible]

人判　[illegible]

廿九番　彫昭

方　持　家基

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

下句いとをもしろかるべくみえ侍

三十番

左　持　　定家卿

あさぢふのをのの篠原しのぶとも人しるらめや忍ぶの草

右　　信定

わすれぢのをのの篠原しのぶとも人しるらめや忍ぶの草

左方歌下句新味侍とかの方をもかつ

はしらるべきとおぼえ侍るのみならず家にはつ

くべきをもつて歌言新味及侍ると右の歌の

心ばへ見所侍るといへども歌ゆゑ侍

なほ左勝侍べきにや侍らんとぞ侍

しかるべきにて侍ればこそ君歌子業ともに

ことに深き侍る儀侍るべきかと侍べ